

## 浅川流域の内水処理計画の検討結果

### 【検討対象内水】

- 内水の規模は、既往最大の被害をもたらした「昭和58年9月の台風10号」による実績内水とする。

### 【目標の設定】

- 許容湛水深は、宅地部で30cmとする。

### 【検討上の条件】

- 地形（地盤高、土地利用等）は、最新の都市計画図を使用して調査し、現況とした。
- 排水機場、排水樋門は現況。（浅川排水機場、長沼排水機場、三念沢雨水ポンプ場、沖雨水ポンプ場、大道橋排水機場を考慮し、排水樋門は浅川・長沼排水樋門を考慮）
- 排水機場の操作は、「長野平土地改良施設管理規程」に基づいた操作とした。（浅川排水機場、長沼排水機場）

## 内水処理施設検討の一覧表

対策案	施設の概要	検 討 結 果						
		湛水戸数（戸）		宅地の湛水深（m）		湛水面積（km <sup>2</sup> ）		効果等
		現況	対策実施後 湛水戸数	現況	対策実施後 最大湛水深	現況	対策実施後 最大湛水面積	
（第1案） 排水機場増設	浅川排水機場を25m <sup>3</sup> /s程度増設し、合計69m <sup>3</sup> /s程度とする		0		0.23		1.08	
（第2案） 放水路	長沼1号排水路からの流入量の一部を千曲川へ排水する放水路及び放水路用ポンプを設置 (流量約8m <sup>3</sup> /sカット)	約490	約260	1.50	0.84	1.48	1.16	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善はされるが、対象地域の床上浸水は解消されない</li> <li>現況から、湛水戸数約47%、湛水深約44%、湛水面積約22%解消</li> <li>超過洪水時でも効果は発揮される</li> <li>千曲川に排水する排水機場が必要となり、コストが多くなる。</li> </ul>
（第3案） 遊水地	浅川上流からの流入量の一部をカットする遊水地を設置 (調整容量約14万m <sup>3</sup> )		約470		1.17		1.44	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善はされるが、対象地域の床上浸水は解消されない</li> <li>現況から、湛水戸数約4%、湛水深約22%、湛水面積約3%解消</li> <li>排水機場増設案、放水路案に比べ効果小</li> <li>施設規模以上の洪水ではほとんど効果を発揮しない</li> </ul>